

98.2%

心大血管術後の心臓リハビリテーション実施率

測定値の定義・計算方法

Process	分子：	分母のうち、入院期間中に心大血管リハビリテーションを実施した患者数
	分母：	心大血管手術(開心術/大血管術)を施行した患者数

活動のきっかけ

心臓血管術後のリハビリテーションは様々な側面で有効性が証明され、欧米のガイドラインでも強く推奨されている。術後の過剰な安静に伴う、各種合併症の発症を予防する観点からも、術後患者に対してリハビリテーションを提供する体制の構築が必要であり、他病院とのベンチマークを行い、実施体制の構築に向けて取り組む必要がある。

改善活動部門

- リハビリテーション部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
- 早期リハ実施率は98.2%となり、目標値の95%は達成した。 - 医師の診察から処方までの流れ、および、術後のリハ提供体制は構築できている。	- リハ介入の体制作りは構築されているが、介入の効果などについては課題を残している。 - 今後は、術後のせん妄や肺炎などの合併症発生率に対するリハ介入の効果、身体機能やADL機能の予後に対するリハ介入の影響もモニタリングする予定としている。